



# しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校  
学校だより NO. 24  
(通巻124号)  
平成28年(2016)  
12月15日(木)

## 『八中 ゆく年くる年』

校長 飯野 博史

今年も残り少なくなりました。八中でも今年を振り返るとともに、新年を迎える準備を着々と進めています。年末の活動を紹介します。

### ■落ち葉掃き

生徒会・環境整美委員会主催の「落ち葉掃き」を行いました。自主的な参加でしたが、毎朝たくさんの生徒たちが参加しました。学校周り、校庭、体育館裏などの落ち葉が片付き、すっきりしました。

21日(水)は「美化デー」として全校で大掃除をします。清々しい気持ちで新年を迎えます。

### ■もちつき

大岡山東住区主催の「もちつき」が、4日(日)すずめのお宿緑地公園で開催されました。ボランティア生徒を募ったところ、18名が参加しました。

おもちのつき手はもちろん、輪投げ・けん玉・竹馬などのゲームコーナーのお手伝いもしました。「八中生がたくさん来てくれてありがたい」地域の方からお褒めの言葉をたくさんいただきました。

### ■2年生「生き方教室」 12/8

1月に実施する職場体験の事前学習として「生き方教室」を実施しました。「仕事をするということ」というテーマに沿って、企業の方からお話をうかがう企画です。パナソニック株式会社と三井住友カード株式会社の2社の方からお話をうかがいました。様々なアイデアでユニークな商品を開発していること、クレジットカードの仕組みなど、普段なかなか聞くことができないお話がたくさんありました。「物事を多面的にとらえる習慣を身に付けよう」など、これからの生活や学習に役立つアドバイスをいただきました。

今回の企画はNPO法人「おやじ日本」のご協力をいただきました。ありがとうございました。

■学校評価、その他 11月に保護者の方を対象に「学校評価」をお願いしたところ、約90%の回収がありました。ご協力ありがとうございました。現在、分析をしているところです。結果は学校だより等でお知らせして参ります。

すでに紹介しましたが「平成28年度 中学生 税についての作文・標語」において、〇〇〇〇さんが全国納税貯蓄組合連合会会長賞という栄誉ある賞をいただきました。裏面に受賞作文を掲載いたします。ぜひご覧ください。



落ち葉掃き



もちつき



生き方教室

## 全国納税貯蓄組合連合会会長賞

### 「社会を紡ぐトライアングル」

目黒区立第八中学校 三年

私は本を読むのが大好きだ。だから、図書館をよく利用する。絵本から専門書に至るまで所蔵されているこの場所は、私にとって、幼い頃から通い慣れた特別な空間だ。地元の図書館だけでなく、出掛け先でたまたま見つけた図書館にも訪れる。目当ての本を読むことはもちろんだが、所蔵されている本の種類や陳列の方法、その図書館のお薦めコーナー等、独自の工夫が施されていて面白い。

ただ、図書館の広さや大きさを別にして、地域によって図書館の数が極端に少なかったり、所蔵されている本の冊数や本の状態に差があったり、がっかりすることもしばしばだ。利用者のマナーが悪いだけの問題とは言い難い場合も多い。公共の施設であるにもかかわらず、なぜこれほどまでに区や町によって差があるのだろうか。

図書館の費用は、全て税金によって賄われている。しかし、使い道は市区町村に委ねられていることがほとんどだ。目黒区では昨年度、図書館運営費として一億千八百四十万三千円の予算が組まれ、開館時間の延長及び一部通年開館が実施された。そして、その事

業は今年度も継続されており、区民が利用しやすくなったと好評のようで、私もその恩恵を存分に受けている。

だが、図書館を全く利用しない区民の方からすると、一億円のお金を別のことに使ってほしい、という声があがっても不思議ではない。公共性と公平性を踏まえて、税金を集め、投資するのは、色々な意見をもつ市民の事情を、様々な角度から検討しなければならず、とても複雑である。その時々、の優先順位を考え、市民にとって必要かつ有益なところにお金をかけなければならないのだ。

私が税金を身近に感じるのは、買い物をした時に「消費税によってお会計が高くなる」ということぐらいだ。しかし、日常生活を振り返ってみると、図書館や区民プールの利用料、中学校の授業料や教科書代、医療費等、そのほとんどが税金によって成り立っている。しかも、見ず知らずの誰かが納めた税金の恩恵に預かっている。家族にのみ支えられていると思っていた私の生活は、顔も名前も知らない多くの人々によって支えられているのだ。この事実を再認識した今、これまでの自分を恥ずかしく思わずにはいられない。現在の私の日常生活はもちろん、これまでの私を形成してきた多くは、周囲の人々の支えなくてはあり得ないのだ。

税金を納める人、税金を正しく使う人、税金によるサービスを受ける人、この三者のトライアングルが私たちの生活を安心で豊かにしているのである。だからこそ、これまで受けてきた恩恵をいつか見ず知らずの誰かにお返ししたいと思う。将来、このトライアングル的一端を担うためにも、今はしっかりと勉強に取り組み、社会人となった時には、きちんと税金を納められる人でありたい。